

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	分収林造林事業	会計	一般会計	事業No.	628	施策順No.	11-075	
		事業種別	政策・その他	予算科目	6-2-2-29-2			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	南信濃自治振興センター			
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	18	終了	23

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市有林(南信濃地区)						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		分収造林契約面積(ha)	3450	3450	3450	3450	3450	
	意図	保育施策を実施し、健全な森林作りを進める						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	分収造林契約地の施業面積(ha)	9.97	9.85	37.75	15	10	21	C
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	国の計画面積の減少による。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	独立行政法人森林総合研究所より受託し保育施業及び森林国営保険の更新を行う		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 受託事業 (1)分収造林契約地の保育施業を行う。施業は業務委託 池口山1団地 除伐 (2)森林国営保険の更新を行う 諸河内沢団地・兔洞2団地	1 受託事業 (1)除伐計画面積(ha) (2)保険料(円)	1 (1) 10ha (2) 177,375円
23年度実施計画	1 受託事業 (1)分収造林契約地の保育施業を行う。施業は業務委託 兔洞団地、加々良団地 (2)森林国営保険の更新を行う 兔洞団地、諸河内沢団地	1 受託事業 (1)除伐計画面積(ha) (2)保険料(円)	1 (1) 21ha (2) 228,000円

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項	(そ) 諸収入(分収造林受託事業収入)
	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他		3,100	2,161	4,328		
	一般財源		0		0		
	計(A)		3,100	2,161	4,328		
	正規職員所要時間			100			
	臨時職員等所要時間						
	人件費計(B)			358			
	トータルコスト A+B			2,519			

4 事業に対する市民や議会の意見

森林の保全管理は重要

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	林業生産額(億円)	経済的自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	分取造林造林契約により市有林の整備がなされ健全化が図られている			
	後期に向けた課題	契約地については計画的に整備を継続するが不成績地の対応が必要			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	森林組合及び森林総合研究所と協議し計画的な市有林の整備をしてきた			
	後期に向けた課題	今後も継続が必要であるが、現状踏査が必要			
コストを削減するためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り	分取契約により市財は不要となっている			
	後期に向けた課題	今後も継続していく			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	伐期には、分取契約割合によって収益の一部は森林総合研究所及び森林組合に分けるが、市も相当額の収入が見込める			
	後期に向けた課題	関与を継続する			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	優良契約地を優先的に計画的に整備を実施してきた			
	後期に向けた課題	分取造林地の現状を調査し森林総合研究所との協議を行い契約の見直しをしていく必要がある(契約の解除等)			
全体を通じて	4年間の振り返り	契約地の市有林が市財を使わず、計画的に整備がされている			
	後期に向けた課題	危惧されている森林総合研究所の存続を国に要望するとともに、今後も分取造林契約地の整備を継続する			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--